

---

# 平成27年度事業計画の策定



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



# 平成27年度事業計画の策定

平成26年度～平成28年度 3カ年基本方針

## ○全社的な重点項目

「災害からいのちを守る日本赤十字社」の確立

## ○組織基盤の強化

「より信頼される日本赤十字社」を目指して

# 平成27年度事業計画の策定

3カ年 第1次年度(平成26年度)事業計画の評価

各事業項目の達成状況

未達成

原因は何か

事業内容の見直し

平成27年度事業計画へ

# 平成27年度事業計画の策定

3カ年 第1次年度(平成26年度)事業計画の評価

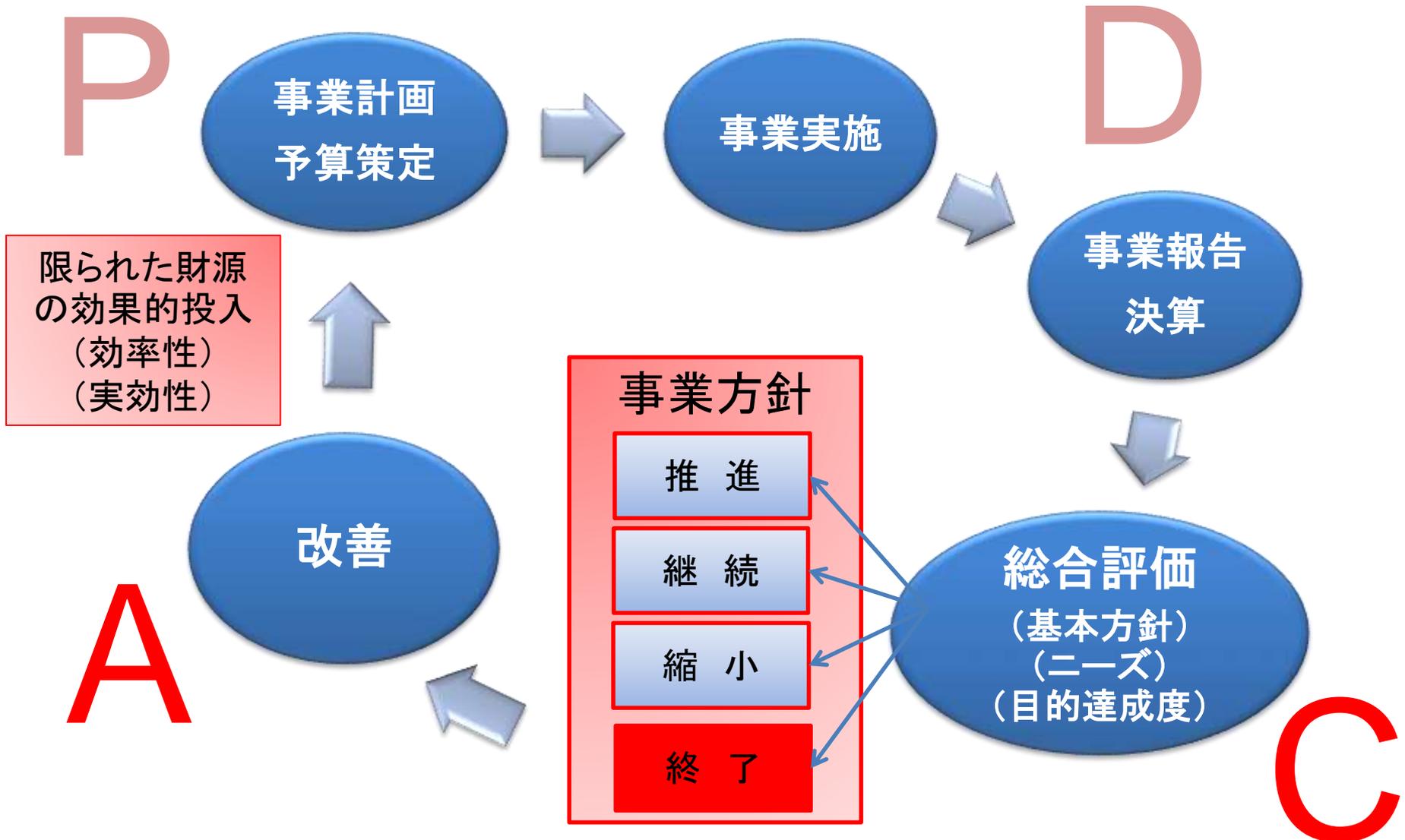
各事業項目の達成状況

達成

その要素は何か

他事業の参考へ

# 各事業計画の推進



# 平成27年度事業計画及び 収支予算(案)の概要

## 一般会計



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 1. 平成27年度事業計画における主な取り組み

項目	これまでの評価	課題	取り組みの方向	
国内災害救護体制の充実強化	発災直後の応急救護活動が基軸	復旧・復興、防災・減災への取り組み	災害対応マネジメントサイクルの確立	
組織基盤強化	ボランティア	多様な活動ニーズへの対応が不足	地域ニーズに応じた事業の普及拡大	主体的参加の促進、意見反映
	青少年	赤十字への関心の低下	活動内容の充実	指導者の養成と活動支援
	社員制度	社会環境の変化に対応していない	社員及び社資の長期漸減傾向	わかりやすい制度への再構築

## 2. 国内災害救護体制の充実強化

- 災害対応マネジメントサイクルの確立
- 防災教育プログラムの策定（地域コミュニティ）
- 救護員等の継続的な人材育成
- 関係機関との連携強化
- 原子力災害への備え



北海道支部救護班が参加した  
第3回全国赤十字救護班研修会



海上保安庁との業務協力  
に関する協定調印式

## 防災教育プログラムの策定（地域コミュニティ）

- (1) プログラム内容の検討・拡充
- (2) 全国展開に向けての体制の検討  
⇒ 本社・支部体制の整備、ボランティアの参画
- (3) 他団体との連携・協働の検討  
⇒ 地方自治体、NPO・大学等との連携・協働



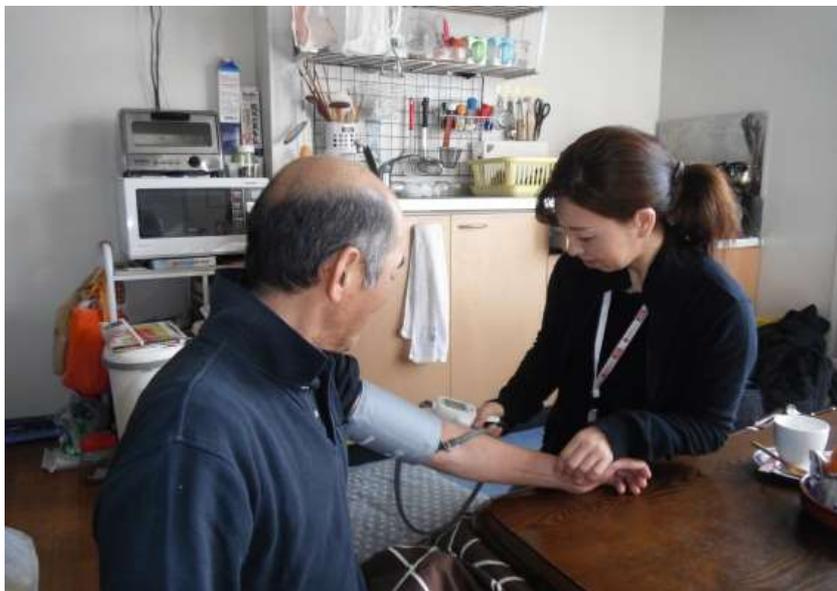
防災マップを作成している様子  
（パイロット事業）



毛布による傷病者の搬送  
（パイロット事業）

### 3. 東日本大震災復興支援事業の実施

- 生活再建支援
- 福祉サービス支援
- 教育支援
- 医療支援



被災者の健康状態を確認する看護師  
(福島県いわき市)



わんぱく元気スクール  
(宮城県)

## 4. 海外での救援活動や開発協力

- 緊急救援 ⇒ 中東人道危機、エボラ出血熱
- 開発協力 ⇒ 災害対策、地域保健、母子保健
- 核兵器廃絶への取り組み



赤十字は、最も感染リスクの高い遺体管理について、安全で死者の尊厳を守る埋葬を実施し、遺体を運び出した後の家の消毒も行っています。



地域の将来を担う子どもたちにも防災・保健衛生教育を行っています。

## 中東地域紛争犠牲者支援

(1) シリア、レバノン、ヨルダン、イラク、トルコ、パレスチナ  
での支援を拡充

⇒ 医療支援、衛生促進支援、栄養管理、こころのケア等

(2) 中東人道危機救援キャンペーン(仮称)の展開



シリア赤新月社ボランティアにより病院に緊急搬送される妊婦(C) SARC



救急車に患者を載せる  
救急チーム(C) SARC

## 5. 地域における赤十字事業の活性化

### (1) 赤十字講習事業の普及

- 防災メニューを取り入れた赤十字講習の普及
- 若年層への積極的な働きかけ
- 企業・団体とのタイアップ講習



防災メニューを取り入れた赤十字講習



学校での赤十字講習

## (2) 赤十字ボランティア・青少年赤十字の活動

### ア 赤十字ボランティアの推進

- ・ボランティアの主体的参加の促進、意見反映
- ・地域に根ざした赤十字事業の推進
- ・防災・減災を取り入れた地域活動
- ・青年ボランティアの活動発表、交流の場の提供
- ・活動に参加しやすい体制整備

### イ 青少年赤十字活動の充実

- ・防災教育の実施、普及
- ・指導者、メンバーの育成
- ・国際交流の実施



ボランティアガイドから被災時の話を聞く青年奉仕団員

## 青少年赤十字における防災教育の実施、普及



完成した防災教育プログラムの教材

- ・防災教育セミナーの開催
- ・企業・団体等と連携した普及
- ・幼稚園、保育所向けの防災教育プログラムの開発検討
- ・青少年赤十字未加盟校への配付



愛媛県青少年赤十字研修会での授業の様子

### (3) 広報を通じた赤十字運動の普及

- もっとクロス！ 計画の推進
- 各種媒体を活用した情報発信の強化
- 災害時広報体制の整備
- 国際広報の強化



平成27年度赤十字年間ポスター



災害公営住宅にてインタビューをする  
連盟の広報職員（福島県新地町）

## (4) 社員増強の推進と財政基盤の強化

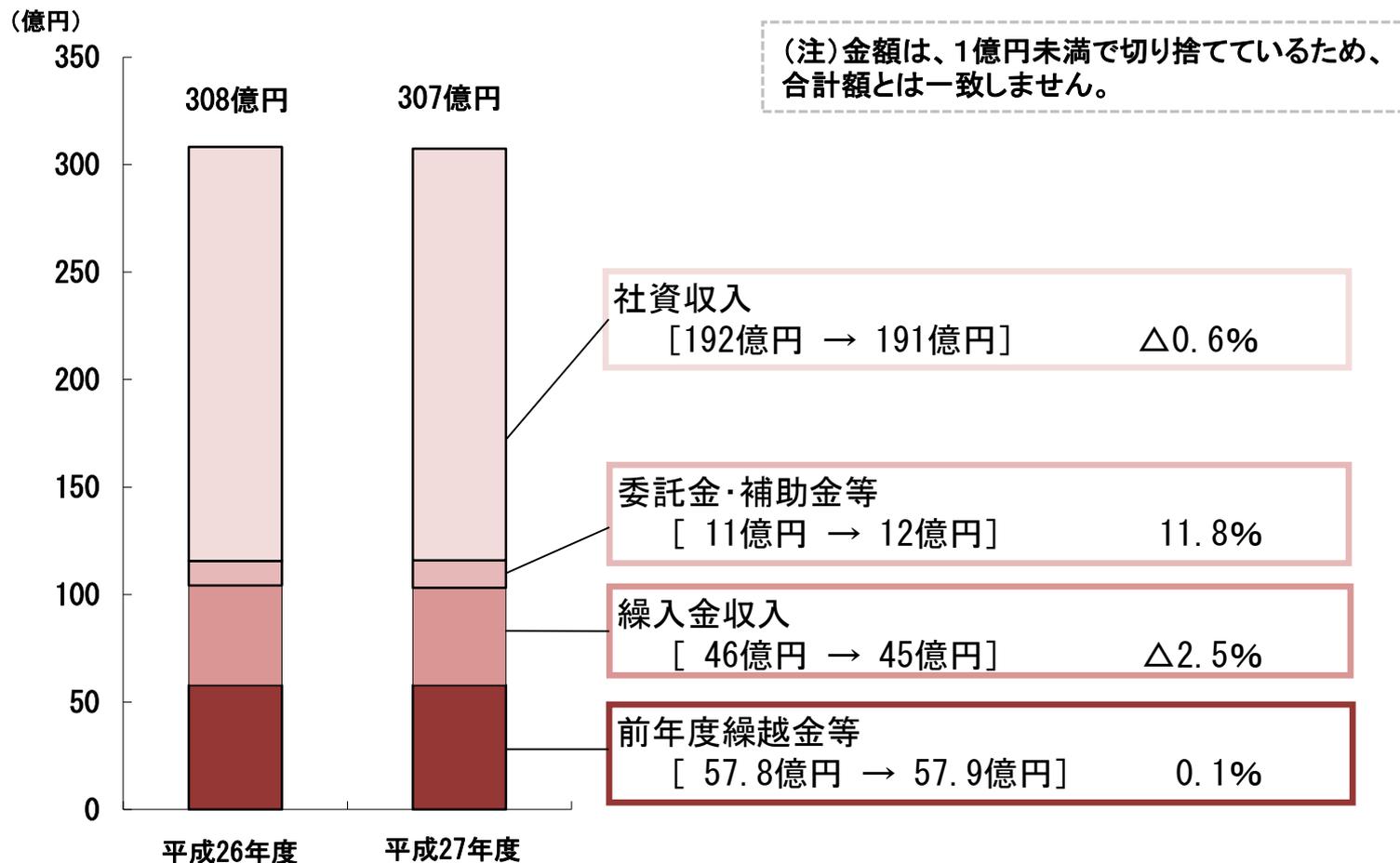
- 社員制度の見直し
- 多様な社資募集方式への取り組み
- 社員・寄付者等支援者へのフィードバック
- 企業・団体に対する働きかけの強化
- 国際活動にかかる資金募集の取り組み



「NHK海外たすけあい」キャンペーン

# 6. 一般会計歳入予算のあらまし

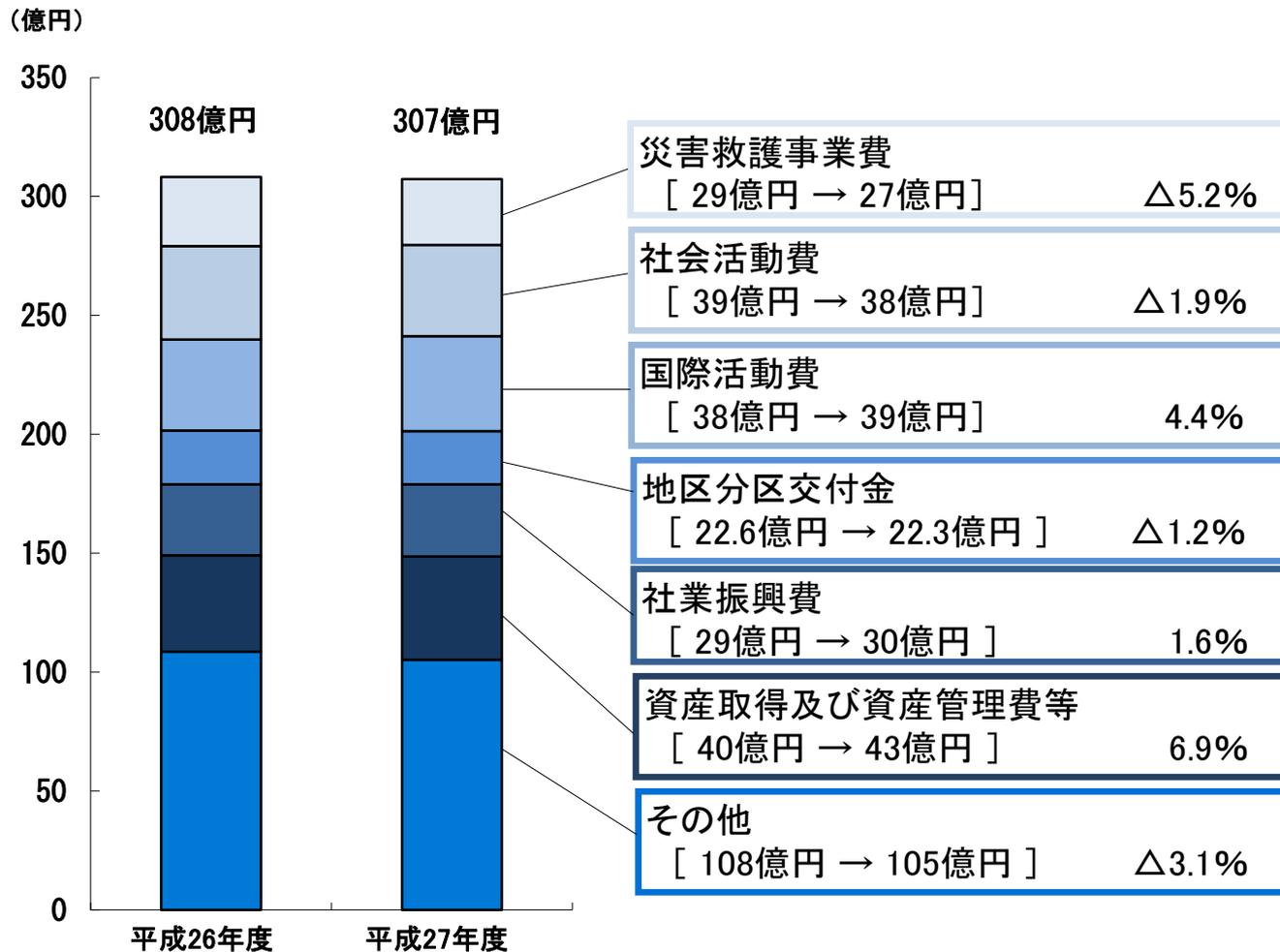
※東日本大震災にかかる  
海外救援金分を除く



	平成26年度	平成27年度	増減率
歳入合計	308億円	307億円	△0.3%

# 7. 一般会計歳出予算のあらまし

※東日本大震災にかかる  
海外救援金分を除く



	平成26年度	平成27年度	増減率
歳出合計	308億円	307億円	△0.3%

# 8. 東日本大震災海外救援金の歳入歳出

## 歳入(平成22～26年度)

1,002億円

(内訳)

各国赤十字社等による寄付	600億円
クウェート政府原油寄贈	400億円
協定が結ばれている寄付	1億円

## 歳出(平成22～32年度見込)

1,002億円

(内訳)

平成22～25年度決算額	870億円
平成26年度決算見込	35億円
平成27年度予算額	51億円
平成28～32年度予算額	44億円

## 平成27年度歳出予算額

51億円

(内訳)

・医療支援	35億円	・災害対応能力強化	1億円
・生活再建支援	4億円	・管理費	1億円
・原発事故対応	1億円	・事業形成中の案件等	7億円

# 9. 一般会計歳入歳出予算(全体)

## 歳入予算(一般会計全体)

358億円

(内訳)

- ・東日本大震災にかかる  
海外救援金分を除く 307億円
- ・東日本大震災  
海外救援金(繰入金収入) 51億円

## 歳出予算(一般会計全体)

358億円

(内訳)

- ・東日本大震災にかかる  
海外救援金分を除く 307億円
- ・東日本大震災  
海外救援金事業費用 51億円

	平成26年度		平成27年度	増減額
歳入合計	374億円	→	358億円	△15億円
歳出合計	374億円	→	358億円	△15億円

# 10. 資金特別会計予算

## 退職給与資金特別会計

平成27年度予算額	286億円	基金残高	372億円
歳入・退職給与資金積立金	284億円	歳出・退職給与資金交付金	268億円
		・退職年金資金特別会計繰出金	8億円
		・退職給与基金編入金	8.6億円
		※退職者数	4,747人

## 退職年金資金特別会計

平成27年度予算額	10億円	基金残高	8億円
歳入・退職給与資金特別会計繰入金	8億円	歳出・退職年金給付金	10億円
・退職年金基金繰入金	2億円	※閉鎖年金給付対象者数	1,823人

## 損害填補資金特別会計

平成27年度予算額	2億円	基金残高	104億円
歳入・損害填補資金収入	1.4億円	歳出・保険料	0.7億円
・保険金収入	0.3億円	・損害填補費	0.6億円
・総合資金出資金償還金収入	0.3億円	・損害填補基金編入金	0.6億円

(注)各会計の基金残高は平成26年度末時点の見込額を掲載しております。